



2021年2月16日

東日本旅客鉄道株式会社

東京支社

## JR東日本で初めてとなる自動列車運転装置(ATO)の使用開始について

- JR東日本では、鉄道の質的な変革の取組みとして、「サービス」や「安全」、「保守」、「運行」、「環境」など様々な側面からスマートレインを実現することを目指しています。
- その一環として、このたび2021年3月13日から、当社で初めて常磐(各駅停車)線にて自動列車運転装置(ATO)を順次使用開始します。
- 自動列車運転装置(ATO)の導入および今後のホームドア整備により、常磐(各駅停車)線のさらなる輸送の安全・安定性向上を図ります。

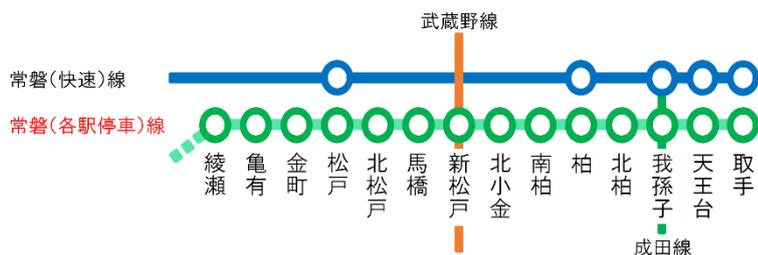
※常磐(各駅停車)線への自動列車運転装置(ATO)の導入については、2019年10月8日社長会見で発表済み

### 1 使用開始時期

2021年3月13日(土)初電から順次使用開始

### 2 導入区間

常磐(各駅停車)線 綾瀬駅～取手駅間

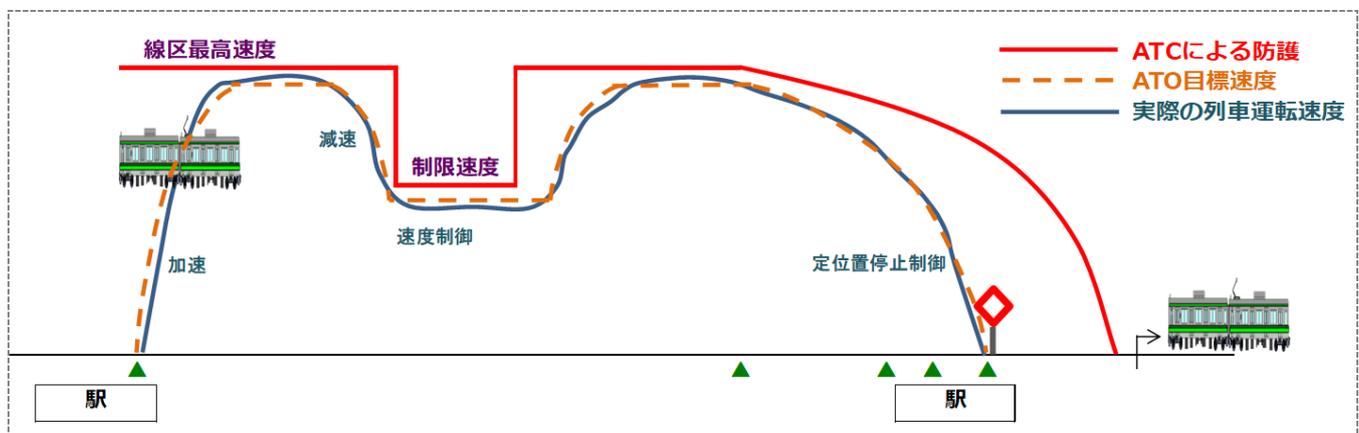


常磐(各駅停車)線 E233系

### 3 使用開始する自動列車運転装置(ATO)について

使用開始する自動列車運転装置(ATO)は、運転士による運転台の出発ボタン操作により、列車衝突などを確実に防止する自動列車制御装置(ATC)の信号の制限速度範囲内で、駅間の速度を自動制御するシステムです。

※ATO: Automatic Train Operation、ATC: Automatic Train Control



自動列車運転装置(ATO)による列車制御のイメージ